



くみあい通信



November

7月28日(土)13時過ぎから、生物生産学部C棟1階第一会議室において組合定期大会を開催しました。大変遅くなりましたが以下、あらためて新役員をご紹介します、定期大会の状況を議事録にてご報告します。また、臨時大会を10月20日(土)13時過ぎから、同会場で開催しました。合わせてご報告します。

2018年度新役員紹介

	役職名	氏名	職種	所属支部
1	執行委員長	丸田 孝志	教員	総合科学部支部 (前年度委員)
2	副執行委員長	中山 祐正	教員	工学研究科支部 (新規)
3	副執行委員長	喜田 英昭	教員	附属中・高支部 (前年度委員)
4	書記長	網本 貴一	教員	教育学研究科支部 (前年度委員)
5	書記次長	河上 眞一	教員	生物生産学部支部 (新規)
6	書記次長	和田 純子	組合職員	組合本部支部 (前年度委員)
7	経理部長	作間 誠	教員	理学部支部 (新規)
8	執行委員	大地 真介	教員	文学研究科支部 (新規)
9	執行委員	田中 優輝	教員	社会科学研究科支部 (新規)
10	執行委員	實藤 大	教員	附属福山支部 (新規)
11	執行委員	島谷 あゆみ	教員	附属東雲支部 (前年度委員)
12	監査委員	小畠 季美枝	契約職員	図書館支部 (新規)
13	監査委員	梅野 栄治	教員	附属三原支部 (新規)
14	監査委員	石本 良子	契約職員	霞支部 (新規)

新執行委員長ごあいさつ

総合科学研究科 丸田孝志

2018年度(2018年8月~2019年7月)の執行委員長を拝命しました。この1年間、よろしくお願いたします。先日の臨時大会では組合費値上げについての執行部提案に対して真摯なご議論とご賛同をいただき、誠に有難うございました。向こう10年間の暫定的な財政基盤はできたところですが、ご承知のとおり、近年の大学「改革」の流れの中で、労働環境の更なる悪化が懸念される事態が様々な形で起こっており、やりがいのある職場を守るために、組合の果たすべき役割は益々高まっています。労働環境の不安定化が促進される中、組合の力を組織全体に広げていくことも是非とも必要です。実は組織のためにもならないような成果主義や職場の流動性を高めようとする「改革」が、リストラの方便ともなってトップダウンで連発される中、本当に皆が皆のために支え合あうことのできる労働環境を創り、守っていくため、皆様の一層のご支援とご協力を賜りたいと思います。よろしくお願いたします。



写真：2018年10月20日 臨時大会

広島大学教職員組合 2018年度定期大会議事録

1. 開催日時 2018年7月28日(土) 13時04分～16時23分
2. 開催場所 東広島市鏡山1丁目4番4号 広島大学 生物生産学部C棟1階第一会議室
3. 代議員の総数 42名
4. 出席した代議員数 26名 内訳: 本人出席 13名
出席者委任出席 0名
書面議決書出席 13名

上記出席により、定足数に達し、本大会は成立した。

5. 出席役員

(1) 出席執行委員の氏名

坂元国望、吉田修、網本貴一、和田純子、丸田孝志(第3号議案から出席)

6. 開会宣言及び執行委員長挨拶

書記長 吉田修 が、出席代議員数が代議員総数の過半数に達していることを報告して開会を宣し、まず、執行委員長 坂元国望 の挨拶が行なわれた。そして、全員で西日本豪雨災害の被害者の方々への黙祷を行なった。

7. 議長選出及び議事録署名人等の任命

書記長 吉田修 が議長の選出を求めたところ、代議員 星野健一 が満場異議なく議長に選出された。議長は議長席につき、議事録署名人及び書記兼大会運営補助員を次のとおり任命した。

議事録署名人 河本尚枝、天野由貴

書記兼大会運営補助員 古川 綾

8. 議事の経過の要領とその結果

審議に先立ち、議長より議事運営について以下のとおり提案があり、承認された。

議案の関連する性格から、第1号議案と第2号議案は併せて提案を受けて討議し、採決は机上に設置してある個別の装置に代議員証を掲げることで行なうこととする。また、休憩後に第3号議案の提案を受けて討議し、採決は1、2号議案と同様の方法で行なうこととする。その後、第4号議案と第5号議案を併せて提案を受けて討議し、採決は1、2、3号議案と同様の方法で行なうこととする。

第1号議案 2017年度活動報告

書記長 吉田修 より別紙「2017年度活動報告」のとおりの提案があった。

職名の新設 Special Professor について、附属学校園の再編統合について、契約職員の休業について質疑応答、意見表明が行なわれた。

討議の後、採決が行なわれ、反対1票、保留0票、賛成29票 で第1号議案は原案どおり承認可決された。

(第1号、2号議案時の本人出席17名(議長含む)、書面議決書での出席14名)

第2号議案 2017年度決算

書記次長 和田純子 より別紙「2017年度決算」のとおりの提案があった。

特別な討議もなく、採決が行なわれ、反対0票、保留0票、賛成29票、(書面議決書の無効1票)で第2号議案は原案どおり承認可決された。

第3号議案 組合財政問題について

書記長 吉田修 より別紙「組合財政問題」のとおりの提案があり、討議が行なわれた。

組合員数に対しての大学構成員数について、組合員メリットについて、組合の広報活動について、質疑応答、意見表明が行なわれた。

討議の後、採決が行なわれ、反対1票、保留4票、賛成25票 で第3号議案は原案どおり承認可決された。

(第3号議案時の本人出席12名(議長含む)、書面議決書での出席19名)

第4号議案 2018年度活動方針

書記次長 網本貴一 より別紙「2018年度活動方針」のとおりの提案があり、討議が行なわれた。

特別な討議もなく、採決が行なわれ、反対0票、保留0票、賛成30票 で第4号議案は原案どおり承認可決された。

(第4号、5号議案時の本人出席11名(議長含む)、書面議決書での出席20名)

第5号議案 2018年度予算

書記次長 和田純子 より別紙「2018年度予算」のとおり提案があり、討議が行なわれた。

特別な討議もなく、採決が行なわれ、反対0票、保留1票、賛成29票 で第5号議案は原案どおり承認可決された。

9. 閉会宣言及び議長・書記等の解任

全議案が終了し、議長より閉会が宣言されるとともに議長及び書記兼大会運営補助員が解任された。

以上の決議を明確にするため、議長及び議事録署名人が記名押印する。

2018年7月28日

広島大学教職員組合2018年度定期大会

議長	星野 健一
議事録署名人	河本 尚枝
議事録署名人	天野 由貴

定期大会を終えて—寄稿— 旧(2017年度)執行委員長 理学研究科 坂元国望

2016年度、2017年度、2年間に渡り組合本部の執行委員を経験しました。

初年度は、持ち回りで支部から選出された形になったので、仕方なく無難に任期をこなそうとっていました。教職員組合の存在意義にも無知で、組合への期待も特に何もありませんでした。執行委員会になるべく欠席しないように、できる限り出席することが自分の責任だと(それさえこなしていれば、責務を果たしている)勝手に決めて、あまり一生懸命にならないでとにかく任期がはやく終了するようにと我慢していました。少なくとも一年目は、これが正直な心境でした。

しかし、広島大学の雇用環境や職場環境の実態を目の当たりにして、大学側と交渉するなかで大学執行部が行っていることに少し憤りを感じるようになり、凶らずも、つい本気になってしまいました。当初の自分の思惑とは違い、2年目はある程度責任感をもって執行委員の任務に取り組めるようになったと思います。

団体交渉や様々な協議を大学と行う内に、大学執行部は予算不足を口実に学生のためにも教職員のためにもならないような施策を次々と打ち出し、職場環境も雇用環境も悪化の一途をたどるのを無視し続けていると実感するようになりました。このような状況が出てきた原因の一つは、執行部からのトップダウン方式の弊害だと感じます。最前線の現場の実態が見えなくなり、外(文科省や外部からの評価)にだけ顔をむけている。大学側も形式的なことを無難にこなそうとしていると感じました。もちろん、トップダウン方式も決定事項が迅速にできるということ等、正の面は確かにあります。もう一つの原因は、教職員が分断され無気力、あるいは、無関心の状態にされていることではないかと感じています。

広島大学教職員組合の存在意義は、広大教職員の職場環境と雇用環境の改善にあると思います。教職員組合員であることのメリットは、個々人でそれぞれ様々だと思いますし、そうあるべきだと思います。団体交渉等で組合が勝った成果によってメリットを受けるのは、組合員だけではなく非組合員にも及ぶことが多いと思います。さらに、勝った成果の恩恵を受けるのは、必ずしも全組合員ではありません。このような少し矛盾(または不満)を感じる状況であることは認めざるを得ませんが、労働者として、大学側と対等な立場で交渉・協議をするためには、組合として団結することが、今後、今まで以上に大事になってくると思います。組合が団結していないと、大学側に足下を見られます。団結なしで、組合の力(力量)を発揮することはできません。

では、団結の要諦は何か?それは、共有だと思います。

「教職員の雇用環境の改善と労働環境の改善」に取り組むという、組合の存在目的とそれを達成するための責任を共有すること。組合の組織活動によって達成された成果の恩恵をうける対象者が教職員の誰であろうと、我がことのように喜び、成果を共有すること。職場環境・雇用環境において苦しい状況に於かれている教職員がいれば、組合として取り上げその解決にむけて組織として努力すること。

すなわち、目的と責任の共有。喜びと行動の共有。

個々の具体的な事案に対する助言は、私には不得手のためできませんが、この4つの共有をすることが根底となって、「団結」の出発点となることを期待しています。

以上

定期大会の第3号議案「組合財政問題について」を受けて臨時大会を10月20日（土）に開催しました。開催に当たっては8月から10月にかけて各種会議や各支部を中心に開催された意見交換会等において貴重なご意見をいただきました。

広島大学教職員組合 2018年度臨時大会議事録

1. 開催日時 2018年10月20日（土） 13時02分～14時15分
 2. 開催場所 東広島市鏡山1丁目4番4号 広島大学 生物生産学部C棟1階第一会議室
 3. 代議員の総数 42名
 4. 出席した代議員数 34名 内訳：本人出席 13名
出席者委任出席 0名
書面議決書出席 21名
- 上記出席により、定足数に達し、本大会は成立した。

5. 出席役員

(1)出席執行委員の氏名

丸田孝志、網本貴一、河上眞一、和田純子

6. 開会宣言及び執行委員長挨拶

書記長 網本貴一 が、出席代議員数が代議員総数の過半数に達していることを報告して開会を宣し、まず、執行委員長 丸田孝志 の挨拶が行なわれた。

7. 議長選出及び議事録署名人等の任命

書記長 網本貴一 が議長の選出を求めたところ、代議員 河西英通 が満場異議なく議長に選出された。議長は議長席につき、議事録署名人及び書記兼大会運営補助員を次のとおり任命した。

議事録署名人 薩摩眞介、寺内大輔
書記兼大会運営補助員 小島季美枝、栗原香織

8. 議事の経過の要領とその結果

審議に先立ち、議長より議事運営について以下のとおり提案があり、承認された。

議案は一つのためのため、提案を受けて討議し、採決は挙手で代議員証を掲げることで行なうこととする。

議案 「組合財政問題について」

書記長 網本貴一 より別紙「組合財政問題について（議案書、及びチラシ）」と「組合費規定（新旧比較の見え消し版）」のとおりに提案があった。

以下の質疑応答、意見表明が行なわれた。

- ・職員母数に対して組合員加入目標数を設定するという意見について
- ・闘争資金の性質について
- ・議案書のシミュレーション表の2028年（10年後）について
- ・金額改定による脱退予測について
- ・改定幅について（1995年時に本給月額×0.35%を今回0.7%とするについて）
- ・組合員メリットについて

討議の後、採決が行なわれ、反対0票、保留4票、賛成29票 で本議案は原案どおり承認可決された。（採決時の本人出席12名（議長含む）、書面議決書での出席22名）

9. 閉会宣言及び議長・書記等の解任

全議案が終了し、議長より閉会が宣言されるとともに議長及び書記兼大会運営補助員が解任された。

以上の決議を明確にするため、議長及び議事録署名人が記名押印する。

2018年10月20日

広島大学教職員組合2018年度臨時大会

議長 河西 英通
議事録署名人 薩摩 眞介
議事録署名人 寺内 大輔

発行 広島大学教職員組合（東広島事務所 本部）
東広島市鏡山1-7-2（広大西口 西エネルギーセンター内）
内線（東広島84）5390 東広島以外からは84をつけておかけください。
TEL/FAX 082-422-7556
メール union@hiroshima-u.ac.jp
ホームページ <http://home.hiroshima-u.ac.jp/union/>

挟み込みチラシ3点のご案内

- ★大日商事(株) 冬季家庭用常備薬の斡旋
- ★伊藤ハム 冬ギフト
- ★丸大食品 冬ギフト

どうぞご活用ください!!!